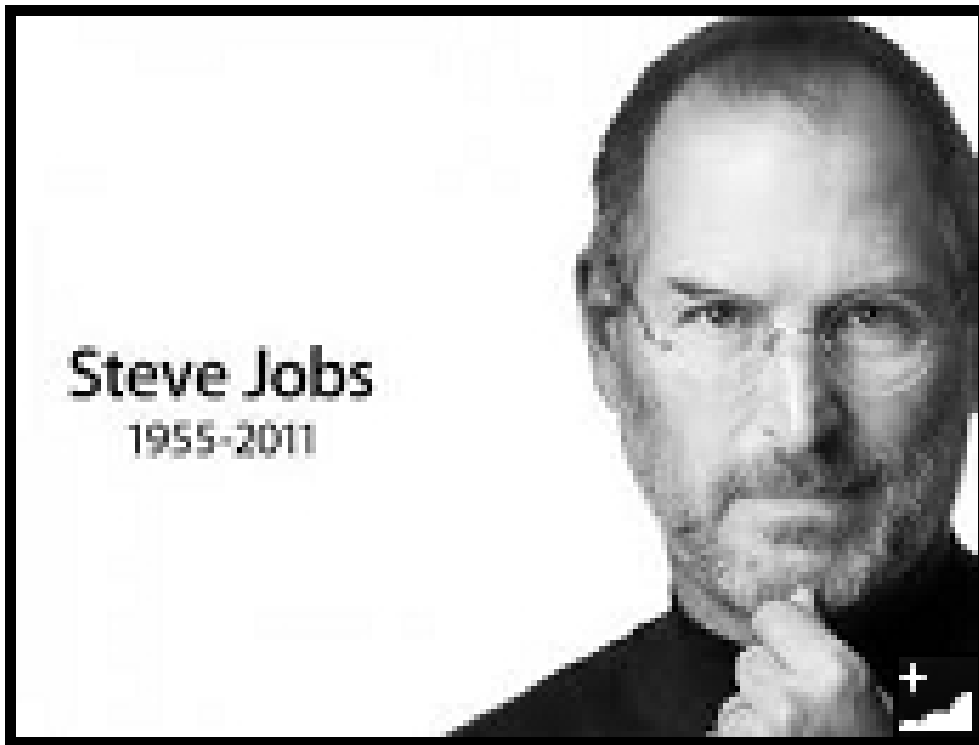


『スティーブ・ジョブズ』 原題: Steve Jobs 2015



映画批評

『スティーブ・ジョブズ』 原題: Steve Jobs 2015 年製作

～アップル製品で世界を変えた男の知られざる姿

塚田三千代 (翻訳家 映画アナリスト).

『スティーブ・ジョブズ』は、ジョブズの生涯でもっとも波乱に満ちた時期の3大製品発表を中心にして舞台劇的な手法で創作されている。従来の伝記映画の手法ではなく会話劇映画で、換言すると、それはこう云えばこう云うという一種の言語ゲームである。ジョブズは製品を発表するときは、大規模なイベントを催して世界を驚かせる発言をした。ゆえに、発表会場に多くのファンを集めた。映画はここに主軸をおいて3幕劇の構成にしている。

スティーブ・ジョブズは1984年に、Macintosh, Appleを追われた後、1988年に復帰してNext Cube, Appleを発表し、続けて1998年にiMacを発表した。映画にはこ

の3大製品の発表にまつわる諸々のエピソード——プログラマーへの過酷な要求や友情、元恋人との確執や娘リサとの隠された親子（父と娘）の愛——が伏線として描かれていく。



↑ 5歳のリサの描いた画面を見るスティーブ・ジョブズ

経済的にどん底のときに元恋人との激しい口調をし、決してゆずりあわない言い争いの際中に、5歳のリサがPCで遊びながら指でなぞって描いた画面を、スティーブはリサという名で保存する。そして10年後、iMacの発表会の日、大学生になったリサが携帯用CDにイヤホーンをつけて音楽を聴いているのを見て、何万曲もの曲をいつでも聴けて、ポケットの中に入れて持ち運びできるような”もの”を作ってあげるよ、と約束する父親ジョブズであった。父と娘の間にあった’こだわり’、難しいコミュニケーションがやっと伝わった瞬間である。それが後日に、iphoneの開発になった。



↑ 新製品発表の会場に立つスティーブ・ジョブズ

【映画情報】

第 88 回米・アカデミー賞ノミネート

主演男優賞 マイケル・ファスベンダー

助演女優賞 ケイト・ウインスレット

ゴールデングローブ賞で、助演女優賞(ケイト・ウインスレット)、脚本賞(アaron・ソーキン)が受賞した。

監督 ダニー・ボイル

脚本 アaron・ソーキン

出演 マイケル・ファスベンダー ケイト・ウインスレット

セス・ローゲン ジェフ・ダニエルズ

2015 年 / アメリカ / 東宝東和配給 / スコープ・サイズ/ドルビーSRD

公式サイト stevejobsmovie.jp



↑ マーケティング担当のジョアンナ（ケイト・ウィンスレット）

【映画史リテラシー】(movie literacy)

映画は誕生してから100年以上の歴史がありますので、映画を適切に歴史的にも理解して、解釈・分析したポイントの知見が映画鑑賞に必要です。

『スティーブ・ジョブズ』では、伝記映画の新鮮で画期的な構成に注目します。ダニー・ボイル監督はスティーブ・ジョブズ（1955–2011）の人生を描く映画を創るにあたって、従来のスタイルではない新しい手法—3幕劇スタイルを考案した。その特色は、プロットの3部作構成、セリフの言語ゲーム的な応答、音楽、衣装において見られる。

- ・長いセリフと動きの流れ—俳優たちのリズムのある会話バトル、機敏で流れるような歩き回りのシーンは見事である。スティーブ（マイケル・ファスペンダー）とマーケティング担当のジョアンナ（ケイト・ウィンスレット）の会話バトルは抜群である。※会話だけで200頁にもなる。
- ・異なる曲想の3つの音楽が場面（幕）の切り替えに使われている。
- ・三大イベントでジョブズが着る衣装を、それぞれ人生の移り変わりにあわせて考案してイベントを盛り上げた。第1幕では、ジョブズは企業のリーダーとしてジョン・

スカリーを手本にして、肩幅の広いダブルのスーツにボウタイ。第2幕では、ジョブズの心境の変化とチームとの関係を示すために全員が黒いスーツ。第3幕では、既にビジネスリーダーをして尊敬されているジョブズを象徴するかのよう、リラックスしたスタイルで登場する。黒のタートルネックとジーンズ姿である。この姿は今亡きスティーブ・ジョブズが多くの人々の記憶に刻まれたイメージである。

・脚本を担当したアロン・ワーキンが原案をウォルター・アイザックスンの「スティーブ・ジョブズ」に基づいているが、表現方法を全く違えている。会話だけで構成されて200頁になる台本を創った。

・音楽を担当したダニエル・ベンバートンは、第1幕は新しい技術の無限の可能性が期待された時代に合わせて、初期のコンピュータのサウンドをイメージして作曲し、ヤマハ CS80 のシンセサイザーで演奏。第2幕はオペラの復讐劇のイメージで、アレグロで始まり、途中にコーラスが入る。74人編成のオーケストラで演奏。第3幕はジョブズの製品のように余分なものをそぎ落としたシンプルでエレガントな曲をアップルのソフトウェアを使って作られた。（出典：プレスシート）

©2015 m. tsukada All Rights Reserved.